



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL: 072-957-2121

FAX: 072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



不穏な秋

院長 かわせ いちろう 川瀬 一郎

皆さん、こんにちは。記録的な猛暑・残暑もようやくひと段落です。心配された電力不足は無事乗り切り、北海道での O157 感染を除いてこの夏は感染症のアウトブレイクがまったくありませんでした。皆さんの手洗い励行や生ものへの注意が功を奏したものと存じます。

私は9月に欧州呼吸器学会でオーストリアのウィーンに行ってきましたが、あちこち平気で日本語をしゃべってきました。しかし帰国したら、中国での反日デモの高まりが大きなニュースで報じられており、自分の「平和ボケ」を大いに反省しております。

その後は連日不穏なニュースが続いておりますが、そのなかでグッドニュースが1つあります。京都大学の山中博士が着々と iPS 関連の仕事を進められ、このたびさらに大きな特許を米国で取得されました。しかし山中先生はその特許をわが国の研究者には無償で与え、医療関連事業にも低価格で提供するとのこと。その心は、「iPS に関する私の特許は、業績を独



り占めするためのものではない。利権目的の集団に占有させないために、私が特許を取るのだ」と、テレビでおっしゃっていました。どこかの国にも聞かせてやりたいと思いませんか、皆さん。

石鹼を使って小麦アレルギーになった？

皮膚科

よしおが 吉岡

えりこ 詠理子

小麦アレルギーは乳幼児期に発症することがほとんどですが、突然 10 代や成人になってから発症することがあります。その多くは原因がなく発症するものですが、小麦成分を含む石鹼が原因となって数多くの方が小麦アレルギーを発症したことが今問題になっています。これは小麦を分解した成分（「加水分解小麦」や「水解小麦末」などと表示されている）を含んでいる、石鹼や化粧品類の使用により発症するものです。これらの石鹼をしばらく使用した後に一部の方に突然発症することがあり、小麦製品を食べた直後または小麦製品を食べた後の運動や外出中に、目のかゆみ・まぶたの腫れ・全身の蕁麻疹・呼吸困難などのアレルギー症状が現れます。



特に(株)悠香から販売されていた『茶のしずく』石鹼で発症した患者さんが多く、現在では小麦を含まない製品に変更されていますが、小麦アレルギーの症状がしばらく続く方が多く検査が必要です。『茶のしずく』石鹼の使用に

よる小麦アレルギーの診断には、血液検査と皮膚テスト(プリックテスト)を行いません。『茶のしずく』石鹸を過去に使われていた方で、原因のわからない小麦アレルギーと診断されている方や思い当たる症状のある方は、当院皮膚科にご相談下さい。

<薬局の紹介シリーズ⑩>小児科野外活動について

薬局

こみやま さやか
小宮山 紗也佳

当センター小児科では、通院、入院中の小中学生の喘息患児を対象とした「自然にふれあう野外活動」を行っています。この活動は喘息患児が自然の中で身体を動かし体力をつけることを目的としています。活動は小児科の医師、看護師、病棟保育士、大阪府立羽曳野支援学校の先生や大学生ボランティアが協力して行っており、私たち薬剤師も参加しています。年4回開催し、内容は飯ごう炊さんや海水浴、ハイキングなどです。

今年度はすでに2回の活動をしています。6月には信太山で飯ごう炊さんとレクリエーションを行いました。飯ごう炊さんでは班ごとに何を作るか考えたものを料理し、レクリエーションでは仲間と協力し合ってゲームで得点を競ったりして楽しみました。また、8月には大阪府立海洋センターで2泊3日の合宿を行い、海水浴やキャンプファイヤー、水鉄砲遊び、スイカ割りなどをしました。喘息は運動によって起こることがあり、これを運動誘発喘息(EIA)といいます。必要な患児は運動前に吸入薬や内服薬を使ってEIAを予防し、元気に遊びました。



さらに今年は花火も行いました。花火はたくさんの煙が出るため、喘息患児は発作を起こす可能性もあり、なかなかできない遊びです。しかし、煙の少ない花火を使ったり、風向きを考えたりとスタッフが工夫して安全に楽しむことができました。

また、野外活動はただ遊ぶだけでなく、喘息について学ぶ機会でもあります。毎回、バスで移動する間に医師が喘息クイズを行い、子供たちが喘息の原因や発作予防に必要なこと、発作時の対応の仕方などについて学ぶ時間を作っています。また、合宿中の薬の時間には、子供たちが正しく吸入できているかを薬剤師と看護師がチェックし、家庭でしっかり吸入できるようにするための指導も行っています。

今年度は残り2回、11月と2月に活動を予定しています。春夏に参加したみなさん、秋と冬も元気いっぱい楽しみましょう！

10月の教室案内

*カンガルー教室	●10月3・17・24・31日	午後1時～	第1会議室
*禁煙教室	●10月4日	午後3時30分～	医療情報コーナー
*喘息教室	●10月18日	午後1時45分～	第2会議室